

脳ドックを受けてみませんか？ ～健診にかかる費用の一部を助成しています～

脳血管疾患の早期発見とその他疾病予防のため、脳ドックにかかった費用の一部を助成しています。以下の条件を全て満たす方が対象です。

- ★脳ドック受診日時点で町内に住所を有する満40歳～74歳の方
- ★職場で脳ドックに対する助成がない方
- ★過去4年間この事業の助成を受けていない方
- ★脳血管疾患による入院および治療中でない方

助成額

窓口で支払った料金の1/2（上限20,000円）

健診の受け方～助成金申請まで

1. 希望する医療機関に直接電話で予約する
2. 健診を受け、料金を支払う
3. 領収証と結果がわかるもの・通帳・ハンコを持参して役場福祉保健課で助成金の申請をする
4. 後日指定した振込口座へ入金

ぜひ一度お気軽に受診してみてください



不妊治療費・不育症治療費を助成しています

対象となる治療	対象者	助成内容
一般不妊治療 (体外受精および顕微授精を除く不妊治療、不育症治療)	次の事項のすべてに該当する方 1 法律上の婚姻をしている夫婦で、医師による不妊治療または不育症治療が必要であると認められた方 2 申請時点において、夫婦のどちらかが八峰町に1年以上居住していること 3 夫婦の双方が医療保険の被保険者、組合員または被扶養者であること 4 夫婦の双方が町税を滞納していないこと 5 治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満であること	診療の属する月から継続する期間、一般不妊治療費・不育症治療費の全額を助成します。(ただし他の法令等による助成金を除いた金額とします。) ※当該年度内に受けた治療が対象です。
特定不妊治療 (医療保険が適用されない体外受精および顕微授精)	次の事項のすべてに該当する方 1 法律上の婚姻をしている夫婦で、八峰町に住所を有している方 2 県の特定不妊治療費助成事業の助成決定を受けている方	治療費のうち、県から受けた助成額を控除した額について、 <u>1回の治療につき15万円まで</u> ※秋田県特定不妊治療費助成事業承認決定通知書の写しが必要です。

特定不妊治療については、秋田県のホームページをご覧ください。URL <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/862>

集いの場「カタクリ」

～社会参加しづらい人へ足を運んでほしい1つの居場所です～

あきた若者サポートステーションと連携して、地域若者サポート事業をすすめています。あきたサポステ利用者と一緒に交流したり、ボランティア活動を行います。ただ来てみるだけでも大歓迎です。お気軽に足を運んでみてください♪

場所：八峰町社会福祉協議会（旧八森中）
日時：毎月第2木曜日（原則）午後1時30分～午後4時
対象：社会参加しづらい方（15歳～49歳の方）



今日のカタクリは、フックカバー作り、しおり作りをします。

皆さん暑い中ありがとうございます。さてコロナウイルス感染症が大流行中、大変ですが皆さんどうか足をお運びいただけたらいいと思います。感染予防対策は徹底して行うので安心して来ていただけたらなと思っています。

記

1. 日時 令和2年8月6日
2. 時間 午後1:30～午後4:00までの予定
3. 場所 八峰町社会福祉協議会
4. 服装 自由
5. 持ち物 自由

たくさんのご参加お待ちしております。

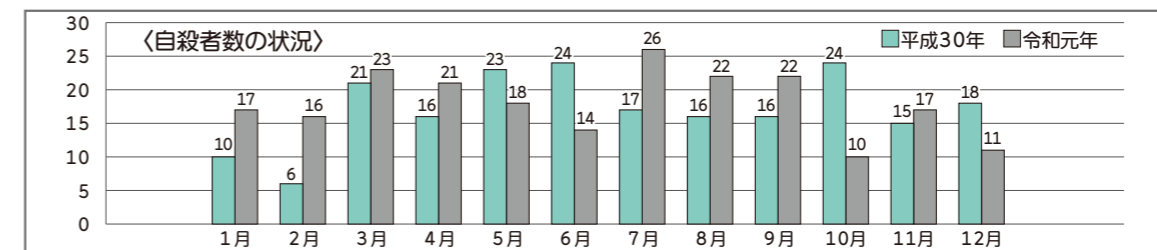
パソコン練習を頑張っている参加者より原稿の打ち込みをしてみました♪

9/10～9/16は自殺予防週間です

●秋田県の自殺の実態

①統計

令和元年の秋田県内の自殺者数は217人(県警統計)で、過去最少だったH30年より11人増加しました。増加は2015年以来、4年ぶりです。



引用：Police.pref.akita.lg.jp

②年齢別割合

年代別では70歳以上が最も多く、60代、50代と続いています。65歳以上の高齢者の割合は全体の51%をしめています。

③月別・男女別割合

月別では7月が最も多く、次いで3月、8月、9月となっています。

男女別では、男性は女性の約2.7倍となっています。

④原因別割合

原因別(複数計上)では、健康問題が最も多く4割を占めています。次いで経済・生活問題、家庭問題、勤務問題でした。

参考：Sakigake.jp

★1人で悩まず、勇気をもって相談してみませんか？

八峰町の自殺予防の取り組みや相談先については2020年度「心といのちのカレンダー」に掲載していますので、是非ご覧ください。

■問合せ・申込先 福祉保健課 健康推進係 ☎76-4608